

特別支援学級 1 年生 社会科 学習指導案

日 時 10月20日(火) 5校時

指導者 植田 浩章

場 所 1年5組教室

- 1 単元名 社会科 地理分野 世界各地の人々の生活と環境  
教科書 p 32～ 6. 山に暮らす人々 7. 低い土地に暮らす人々

2 単元の目標

- (1) 世界各地の人々の生活について興味を持ち学ぶことができる  
(2) 世界各地の気候について理解することができる  
(3) 各地の人々の生活の違いについて理解することができる

3 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 学習に集中して取り組み、プリントなどにしっかり記入できる。  
② 高地（ペルー アンデス地方）での人々の生活や気候について理解する  
③ 低地（タイ バンコク）での人々の生活や気候について理解する。

(2) 本時の展開

	学習内容と活動	教師の指導○と支援◇	資 料
導 入	1 あいさつ 2 今回の内容を簡単に説明する	◇生徒が授業へ気持ちが切り替えられるよう、言葉かけをする。 ○社会係がテレビの準備をしていない場合は声掛けする。	テレビ P C プリント
展 開	3 「6 山に暮らす人々」 「7 低い土地に暮らす人々」	○パワーポイントを操作しながら、プリントをもとに生徒に記入させたり、質問したりする。 ◇生徒ごとに、記入するスピードが違うので、適時確認する。書き終わって待っている生徒に質問していく。	テレビ P C プリント
ま と め	4 まとめ 5 次回の内容の説明 6 あいさつ	○時間があれば本時の内容について、簡単に生徒に質問する。 ○次回の内容の確認	

4 評価

- ① 学習に集中して取り組み、プリントなどにしっかり記入できたか。  
② 高地（ペルー アンデス地方）での人々の生活や気候について理解できたか。  
③ 低地（タイ バンコク）での人々の生活や気候について理解できたか。

## 「 社会の授業で配慮していること ・ デジタル教材等の活用 」

### ① 黒板の板書を削減

広汎性発達障害の生徒・視覚優位の生徒などを考慮している。黒板に大量に書かれていく板書をノートに書き写すのは、目と手の協応動作の苦手な生徒・構造的に書くことが苦手な生徒にとっては厳しい。場合によっては、「ノートに書き写す」だけの作業的な時間になってしまう。

「今、先生は何についてしゃべっているのか」「何が大事で・どこに書くのか」がわかるような授業プリントの作成を心掛けている。

### ② デジタル教材の活用

パワーポイントなどのソフトを活用。視覚優位な生徒・周囲に気が散ってしまう生徒などに有効。教科書・資料集は情報が多すぎるので、生徒によっては「ポイントが分からない」「見たくなくなる」可能性がある。プリントのどこに記入すればよいかわかる・大事なポイントが分かる、ように作成。画面が切り替わる・変化する、といった動きも、生徒の意識を向けるのに有効。

### ③ 考える時間を作る

板書の時間がない分、画像やグラフなどを見て、生徒に考えさせる・意見する機会を多くしている。

## デジタル教材を活用した授業の利点

上記①～③のほかにも、「どのクラスにも均等な授業を展開できる」「一度授業プリント・プレゼンテーションを作成すればおさらいや復習などの振り返り授業も容易」といった利点。

## デジタル教材を活用した授業の欠点

- ① オリジナルでやっていく場合は準備に時間がかかる。1 単位時間のプリント・プレゼンテーションの作成に 3 ～ 5 時間くらい。通常クラスの授業は週 3 コマ。最低 1 0 時間はかかる。
- ② アナログな力が身につかない。ひょっとしたら高校・大学は教員による一方的な講義&板書かもしれない。
- ③ 教科によってはデジタル教材を利用しづらい教科も。数学など。